

「第2期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」計上事業の令和4年度の確保方策の実施状況等

別紙 2

【評価の凡例】

◎:確保方策の実施状況が「計画値以上」かつ「利用実績を満たしている」事業

○:確保方策の実施状況が「計画値以下」かつ「利用実績を満たしている」事業, 又は確保方策の実施状況が「計画値以上」かつ「利用実績以下」の事業

△:確保方策が「計画値以下」かつ「利用実績以下」の事業

【以下の欄は参考表記】

No.	事業名	事業概要	所管課	確保方策 (供給量・供給体制)		R4年度(R5.3月末)の 利用実績 (量の見込みの実績)	評価		令和4年度の 利用見込み (量の見込み)	令和5年度の計画値(中間見直し後)		
				計画に掲げた値	実施状況 (R4年度の確保状況)		凡例	今後の方向性		量の見込み	確保方策 (供給量・体制)	
1	幼児期の学校教育・保育 (1号認定)	年間を通した待機児童ゼロの継続的な実現に向け、本市の全学的な需要計画として教育・保育施設の整備等による供給体制を確保するもの	子ども部 保育課	10,017人分/年	8,832人分/年	5,340人/年	確保方策の実施状況は計画値以下だが、利用実績を満たしている。	○	引き続き、現在の実施状況を維持していくことで、安定的な供給体制を確保していく。	7,425人/年	4,821人/年	9,325人/年
2	幼児期の学校教育・保育 (2号認定)			5,856人分/年	7,170人分/年 (うち1,170人分は 弾力化を活用)	6,454人/年	確保方策の実施状況は計画値以上で、かつ利用実績を満たしている。	◎		5,712人/年	6,024人/年	7,282人/年
3	幼児期の学校教育・保育 (3号認定 0歳)			2,131人分/年	2,028人分/年 (うち692人分は 弾力化を活用)	2,028人/年	確保方策の実施状況は計画値以下だが、利用実績を満たしている(同数である)。	○	引き続き、「利用定員の弾力化」の活用などにより、供給量の確保に努め、保育需要(利用実績)に適切に対応することにより、令和4年度に本市で初めて達成した「年間を通した待機児童ゼロ」の継続的な実現を目指していく。	2,131人/年	1,900人/年	1,900人/年
4	幼児期の学校教育・保育 (3号認定 1, 2歳)			4,304人分/年	4,369人分/年 (うち399人分は 弾力化を活用)	4,369人/年	確保方策の実施状況は計画値以上で、かつ利用実績を満たしている(同数である)。	◎		4,284人/年	4,048人/年	4,779人/年
5	妊婦に対する健康診査	妊娠の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、健康状態の把握や検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中適宜、必要に応じた医学的検査を実施する事業	子ども部 子ども支援課	【実施場所】 全国の医療機関 (病院、診療所、助産院) 【実施体制】 医療機関の医師 【検査項目】 尿検査、血液検査等	計画に掲げた確保方策を実現できている。	・健康診査を受けた人数 3,434人/年 ・健康診査の実施回数 41,688回/年	確保方策の実施状況は計画値以上(計画どおり確保できている)であり、かつ利用実績を満たしている(全ての利用実績に対応できている)。	◎	・今後とも、安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう、妊娠中及び産後の異常の予防や早期発見・早期治療を促し、妊婦の適切な健康管理を行う。 ・また、子育て支援アプリや妊娠後期に当たる妊娠8ヶ月面接の機会を活用し、事業の趣旨を含めた周知を徹底することにより、受診率の更なる向上に努める。	・健康診査を受ける人数 4,118人/年 ・健康診査の実施回数 52,694回/年	・健康診査を受ける人数 3,485人/年 ・健康診査の実施回数 43,959回/年	量の見込みと同人 数・同回数を確保
6	乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)	生後4ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業	子ども部 子ども支援課	【実施体制】 専門職27人 (助産師、看護師、保健師) 【実施機関】 市直営	【実施体制】 専門職25人 (助産師、看護師、保健師) 【実施機関】 市直営	全戸訪問数(利用人数) 3,313人/年	確保方策の実施状況は計画値以下だが、利用実績を満たしている(全ての利用実績に対応できている)。	○	・今後とも、出産後の育児支援や虐待の未然防止を図るため、面接率の向上、訪問指導員の資質の向上に取り組む。 ・また、県の「ようこそ赤ちゃん支援愛事業」と連携を図ることにより、産後の母子の状態やニーズを把握しながら継続して事業を実施していく。	全戸訪問を予定 (利用者数4,027人/年)	全戸訪問を予定 (利用者数3,370人/年)	専門職25名にて対応 (助産師、保健師、看護師)
7	養育支援訪問事業	養育支援が特に必要な家庭に対して、養育支援訪問員がその居宅を訪問し、養育に関する指導・助言や育児・家事援助等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業	子ども部 子ども支援課 子ども家庭支援室	【実施体制】 専門的相談支援員1人、 育児・家事支援1人 【実施機関】 子ども支援課子ども家庭支援室 【委託団体】 宇都宮市母子寡婦福祉連合会(育児・家事支援)	計画に掲げた確保方策を実現できている。	訪問事業の実施件数 222件/年	確保方策の実施状況は計画値以上(計画どおり確保できている)であり、かつ利用実績を満たしている(全ての利用実績に対応できている)。	◎	養育支援訪問員による相談支援件数は高止まりの傾向であるが、育児・家事援助を行う支援サービスの利用ニーズが低調となったことにより、当初想定した件数よりも利用実績は下回ったところである。今後とも、セーフティネットの一環として適正に事業を実施していく。	訪問事業の実施件数 394件/年	訪問事業の実施件数 394件/年	専門職にて対応 (専門的相談支援員1人、育児・家事支援1人)

「第2期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」計上事業の令和4年度の確保方策の実施状況等

別紙 2

【評価の凡例】

◎:確保方策の実施状況が「計画値以上」かつ「利用実績を満たしている」事業

○:確保方策の実施状況が「計画値以下」かつ「利用実績を満たしている」事業、又は確保方策の実施状況が「計画値以上」かつ「利用実績以下」の事業

△:確保方策が「計画値以下」かつ「利用実績以下」の事業

【以下の欄は参考表記】

No.	事業名	事業概要	所管課	確保方策 (供給量・供給体制)		R4年度(R5.3月末)の 利用実績 (量の見込みの実績)	評価		令和4年度の 利用見込み (量の見込み)	令和5年度の計画値(中間見直し後)		
				計画に掲げた値	実施状況 (R4年度の確保状況)		凡例	今後の方向性		量の見込み	確保方策 (供給量・体制)	
14	延長保育事業	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日以外の日及び利用時間以外の時間において、保育所や認定こども園等において保育を実施する事業	子ども部 保育課	利用可能人数 5,692人/年	計画に掲げた確保方策(受入人数)を実現できている。	延べ利用人数 5,018人/年	確保方策の実施状況は計画値以上(計画どおり確保できて)で、かつ利用実績を満たしている。	◎	当事業は、利用者が利用したい時に利用できることが望ましいことから、今後とも、国・県の動向を注視し、利用者ニーズに適切に対応できる体制の維持を図っていく	延べ利用人数 4,672人/年	延べ利用人数 5,497人/年	延べ利用人数 6,428人/年
15	病児保育事業	保育を必要とする病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を行う事業	子ども部 保育課	利用可能人数 6,855人分/年	計画に掲げた確保方策(受入人数)を実現できている。	延べ利用人数 1,929人/年	確保方策の実施状況は計画値以上(計画どおり確保できて)で、かつ利用実績を満たしている。	◎	・利用実績は計画値を大きく下回ったが、これは新型コロナウイルス感染症の影響による在籍園の休園などにより利用制限が生じたことが原因であり、コロナ5類移行に伴い、今後、利用実績は回復傾向に向かうものと見込んでいる。 ・今後とも、病院等の関係機関と連携するとともに、国・県の動向を注視しながら、適正に事業を実施していく。 (参考)令和5年4月～9月の病児保育の延べ利用人数:1,425人/6月	延べ利用人数 4,773人/年	延べ利用人数 4,288人/年	延べ利用人数 6,855人/年
16	放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る事業	教育委員会 事務局 生涯学習課	利用可能人数 9,304人分/年	利用申請(実績)に応じた供給量を確保できている。 (利用可能人数 8,897人分/年)	利用人数 7,463人/年	確保方策の実施状況は計画値以下だが、利用実績を満たしている。	○	・当事業は、利用実績に合わせて確保方策(供給量)を調整するため、令和4年度は計画値を下回ったものの、全ての利用実績に対応できている。 ・今後とも、利用状況を見極めながら、適正な事業実施に努めていく。	利用人数 7,564人/年	利用人数 7,715人/年	利用人数 9,670人/年
17	実費徴収に係る補給給付を行う事業	低所得世帯の子どもが教育・保育の提供を受ける際に教材費や副食費に係る費用分の一部を補助する事業	子ども部 保育課	利用見込人数 16,841人/年	利用申請(実績)に応じた供給量を確保できている。	利用人数 5,309人/年	確保方策の実施状況は計画値以上(計画どおり確保できて)で、かつ利用実績を満たしている。	◎	当事業は、要件を満たす利用申請者に対して補助を実施するものであり、今後とも、国の運用に準じながら、適正に事業を実施していく。	利用見込人数 16,841人/年	利用見込人数 7,804人/年	利用見込人数 7,804人/年
18	休日保育	仕事や病気等のために休日、家庭で保育ができない場合に保育を実施するもの	子ども部 保育課	開所日あたり 30人/日	計画に掲げた確保方策(受入人数)を実現できている。	開所日あたり 15人/日	確保方策の実施状況は計画値以上(計画どおり確保できて)で、かつ利用実績を満たしている。	◎	今後とも、民間の保育施設と連携を図りながら、適切に事業を実施していく。	開所日あたり 31人/日	開所日あたり 33人/日	開所日あたり 33人/日